

所員活動一覧（二〇一五年四月一日～九月三〇日）

荒木 浩

● 著書

『夢見る日本文化のパラダイム』（編著）法蔵館 二〇一五年五月 五六二頁

● 論文

『今昔物語集』成立論の環境―仏陀耶舎と慧遠の邂逅をめぐって― 東京大学国語国文学会編『國語と國文學』第九二巻第五号 二〇一五年五月特集号 三～一五頁

『日本古典文学の夢と幻視―『源氏物語』読解のために―』荒木浩編『夢見る日本文化のパラダイム』法蔵館 二〇一五年五月 一三～二九頁

『編纂動機と逸話配列―紀貫之の亡児哀傷をめぐって―』『日本文学』第六四巻第七号 二〇一五年七月 二～一四頁

● その他の執筆活動

『夢と文化の読書案内』荒木浩編『夢見る日本文化のパラダイム』法蔵館 二〇一五年五月 五三五～五五二頁

『書評 前田雅之著『古典論考―日本という視座』』『国文学研究』第一七六集 二〇一五年六月 五五～六〇頁

『古典の中の〈世界〉／世界の中の〈古典〉―土左日記・源氏物語・今昔物語集をめぐって―（第一五〇回記念講演から）』『あいち国文』第九号 二〇一五年九月 一～七頁

磯前順一

● 論文

『近代日本の植民地主義と国民国家論―津田左右吉の国民史をめぐる言説布置』『思想』二〇一五年第七号 No.1095 岩波書店 二〇一五年六月 一〇五～一三八頁

『天皇制国家と余白―『国家と宗教』を論じるために』『宗教研究』第八九巻第二号通巻三八三号 日本宗教学会 二〇一五年九月 三～三三頁

●その他の執筆活動

“POINT OF VIEW/ Jun'ichi Isomae: Time to form solidarity to link memories of disasters,” *The Asahi Shinbun*, March 25, 2015 (<http://ajwasahi.com/article/views/opinion/AJ201503250008>).

「インタビュー 著者の肖像 『死者のざわめき 被災地信仰論』 磯前順一さん」『茨城新聞』 二〇一五年五月二四日

「寄稿 死者のざわめき 耳澄ませ」『朝日新聞』（茨城版・朝刊） 二〇一五年八月一三日

「寄稿 『西成』に帰るザ・タイガース 瞳みのるさんと私たちの高度経済成長の夢」『毎日新聞』 二〇一五年八月二四日

伊東貴之

●著書

復旦大学文史研究院編『中国的日本認識・日本の中国認識』（共著）復旦文史専刊・中華書局 二〇一五年四月 一六五頁

『中國近世的思想典範』（楊際開譯・徐興慶校訂）臺灣大學出版中心 二〇一五年六月 三〇四頁

中国社会科学院歴史研究所・一般財団法人東方学会・渡邊義浩編『中国史の時代区分の現在——第六回日中学者中国古代史論壇論文集』（共著）汲古書院 二〇一五年八月 四六六頁

●論文

「関于戦後日本の中国思想史研究趨勢変化之小考——主要以島田虔次和溝口雄三為例」『綜合討論』復旦大学文史研究院編『中国的日本認識・日本の中国認識』復旦文史専刊・中華書局 二〇一五年四月 四六〇五六頁、一六二〇一六三頁

“Essays on Mind, Body and Human Nature: Reconsidering the Philosophical Terminology of Neo-Confucianism”『京都カンファレンス二〇一五』「拡張した心を超えて：異邦の身体 人形 女の魂 東洋の精髓」予稿集』(Proceedings of the Kyoto Conference 2015 “Beyond the Extended Mind: Different Bodies, Dolls, Female Soul and Eastern Spirit”) 京都大学いころの未来研究センターいころ観プロジェクト（代表者：鎌田東二）＋科学学研究費補助金・基盤研究（A）「知のエコロジカル・ターン：人間的環境回復のための生態学的現象学」（研究代表者：河野哲也）＋科学研究費補助金・基盤研究（B）「Embodied Human Scienceの構想と展開」（研究代表者：田中彰吾） 二〇一五年六月 一〇一九頁

"Cataclysmic Disasters in Pre-modern East Asia," *The Paper Collection of the 22nd International Congress of Historical Science 2015, Jinan, China*, August 2015, pp. 1-7.

●その他の執筆活動

「書評 未知の他者を求める文豪——野崎歓『谷崎潤一郎と異国の言語』」共同通信文化部編『書評大全』三省堂 二〇一五年四月

「コラムⅡ 夢の病因論——古代中国医学とフロイト理論の間」荒木浩編『夢みる日本文化のパラダイム』法蔵館 二〇一五年五月 四四二～四四六頁

「梗概 総合討論Ⅱ：分科会Ⅱを終えて」中国社会科学院歴史研究所・一般財団法人東方学会・渡邊義浩編『中国史の時代区分の現在——第六回日中学者中国古代史論壇論文集』汲古書院 二〇一五年八月 四五六～四六一頁

稲賀繁美

●論文

「生けるイメージと文字の死相と『グローバル時代の東アジアの文化表象』から——応答にそった議論総括と方法論的反省」(前)『あいだ』二二〇号(連載第一〇九) 二〇一五年四月 一八～二二頁、(後)『あいだ』二二二号(連載第一一〇) 二〇一五年六月二〇日 五～九頁

「Do japonismo ao medievalismo: a formação da estética oriental e a crise da cultura urbana moderna, "都市の近代化と現代文化：ブラジルと日本と対話, *Modernização urbana e cultura contemporânea: diálogos Brasil-Japão*, Andrea Yuri Flores Urushima, Raquel Abi-Sâmara, Murilo Jardim da Costa organização, Terracota, São Paulo 2015, pp. 69-83.

"La vie transitoire des formes—Un patrimoine culturel à l'état d'éidos flottant," *Le Sanctuaire d'Yse—Récit de la 62^e Reconstruction*, Sous la direction de Jean-Sébastien Cluzel et Nishida Masatsugu, Mardaga, 2015, pp. 145-155.

●その他の執筆活動

「『まれびと』の到来と客人歓待とのあいだ——国際研究集会『比較思想から見た仏教』でのエンリコ・フォンガロの論考を出発点に」(一)(二)『図書新聞』第三二〇一号(連載一四六)、第三二〇二号(連載一四七) 二〇一五年四月四日、一一日

「命の波立ちを幻視する 鶴岡真弓著 『装飾』の美術文明史」「絵葉書に残る百年前の世相 細馬宏通著『絵はがきの時代』」「翻訳成功の秘密を探る 平川祐弘著『アーサー・ウェイリー「源氏物語」の翻訳者』」「再掲載 共同通信文化部編『書評大全』三省堂 二〇一五年四月九五四頁、一一八五頁、一五五九頁

「忘却された『交流誌』の空白を埋める書——広範な一次史料の精査からは、この時代ならではの豊かな人間関係の交錯が浮かび上がる 南明日香著『国境を越えた日本美術史…ジャポニスムからジャポロロジーへの交流誌 一八八〇～一九二〇』(藤原書店、二〇一五年)」「『図書新聞』第三二〇六号 二〇一五年五月九日

「書評 日本統治下の多彩な文筆活動 大東和重著『台南文学』(関西学院大学出版会、二〇一五年)」「『日本経済新聞』二〇一五年五月二四日「夢」を巡る語彙のたゆたいを——夢想の方法論的反省にむけた賞書」(上)(下)『図書新聞』第三二〇九号(連載一四八)、第三二一〇号(連載一四九) 二〇一五年六月六日、一三日

「複数言語競合のアジア」藤原書店編集部編『「アジア」を考える』藤原書店 二〇一五年六月 七八～七九頁

「中国の松本清張ブームに日中文化交流の将来を探る——王成教授講演『越境する「大衆文学」の力…なぜ中国で松本清張が流行するのか』から」(上)(下)『図書新聞』第三二一三号(連載一五〇)、第三二一四号(連載一五一) 二〇一五年七月四日、一日

「稽古と継承」『かみはま合気道』二〇一五年度版第一七号 三重大学合気道部OB会 二〇一五年八月 四～五頁

「和辻哲郎『倫理学』の現代的課題へむけて アントン・セヴィリアの博士論文『空の倫理学を世界の場合へ——和辻哲郎の体系的倫理学の応用・限界・可能性』を起点に」(上)(中)(下)『図書新聞』第三二二〇号(連載一五二)、第三二二一号(連載一五三)、第三二二二号(連載一五四) 二〇一五年八月二九日、九月五日、一二日

井上章一

● 著書

『京都ざらい』朝日新聞出版 二〇一五年九月 二二四頁

● その他の執筆活動

- 「書評 末本文美士著『草木成仏の思想』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一五年四月一日
- 「書評 吉村豊雄著『天草四郎の正体』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一五年四月二二日
- 「私たちの好きなアイドル リン・ミンメイ」『中央公論』二〇一五年五月号 二〇一五年四月
- 「井上章一×邱海濤×金文学 日・中・韓『性の三国志』座談会」『週刊現代』二〇一五年五月九・一六日合併号
- 「関西よみうり懇話会第一回 地域づくり 住民の自治力育てよ」（深尾昌峰らと）『読売新聞』二〇一五年五月二二日
- 「書評 大江千里著『九番目の音を探して』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一五年五月二八日
- 「長老経営者に取材したディテールの充実した売買春史 書評 清泉亮著『吉原まんだら 色街の女帝が駆け抜けた戦後』」『週刊ポスト』二〇一五年五月二九日号
- 「天守閣はキリスト教由来？」『高知新聞』二〇一五年五月三〇日
- 「学知と世間知を往還する」近畿地区大学教育研究会編『第八三回研究協議会記録集』二〇一五年五月
- 「ミュージアムで会いましょう第一回 井上章一×柳家喬太郎 かつての看板娘は、いま何処。」『文藝春秋』二〇一五年六月号
- 「日本とは何なのか」（部分再録）『桃山学院大学国語入試問題』二〇一五年六月実施
- 「杉本秀太郎さんを悼む」『読売新聞』二〇一五年六月二日
- 「書評 井上理津子著『葬送の仕事師たち』」『週刊現代』二〇一五年六月一三日号
- 「関西よみうり懇話会第二回 産業創出『物語』込めものづくり」（松永桂子らと）『読売新聞』二〇一五年六月一六日
- 「書評 白杵勲著『東アジアの中世城郭』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一五年六月一八日
- 「名古屋とソウルのあいだには……」『鴨東通信』No.88 思文閣出版 二〇一五年七月
- 「書評 スーザン・マン著『性からよむ中国史』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一五年七月九日
- 「限りなく全体主義的だった『戦前のアメリカ』を検証 書評 W・シヴェルプシュ著『三つの新体制 ファシズム、ナチズム、ニューディール』」『週刊ポスト』二〇一五年七月一七・二四日号
- 「書評 竹下節子著『フリーメイスン』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一五年七月三〇日

「関西よみうり懇話会第三回 人づくり 都市部と人材循環」(和泉康夫らと) 『読売新聞』 二〇一五年八月一九日

「書評 筒井清忠編『昭和史講義』『日本経済新聞』(夕刊) 二〇一五年八月二〇日

「京都的な、たまたまなく京都的な」『一冊の本』 二〇一五年九月号 朝日新聞出版

「書評 飯内佐斗司著『壊れた仏像の声を聴く』『日本経済新聞』(夕刊) 二〇一五年九月一〇日

「諸勢力の利害対立の様相をエコにそくして説明 書評 フランク・ユケッター著『ナチスと自然保護』『週刊ポスト』 二〇一五年九月二五日・一〇月二日合併号

牛村 圭

●論文

「歴史認識にみるラベリング」『琅』 二七号 二〇一四年一〇月 二〇一三頁

●その他の執筆活動

「ある好角家の帰還」『日文研』 五四号 二〇一五年三月 一九〇二四頁

榎本 渉

●著書

新編森克己著作集編集委員会編『新編森克己著作集五 古代〜近代日本の対外交流』(共編) 勉誠出版 二〇一五年九月 五九二頁

●論文

「一三世紀の東アジア情勢と高麗・大越・日本」劉建輝編『日越交流における歴史、社会、文化の諸課題』(ベトナムシンポジウム 二〇一三)『

国際日本文化研究センター 二〇一五年三月 一七〇二四頁

「平安末期日本对中国医学的接受」復旦大学文史研究院編『中国的日本認識 日本的中國認識』中華書局 二〇一五年四月 三〇一六頁

“Trade Administrated by Maritime Trade Offices (Shibosi) in Song China and by Dazaitu in Heian Japan,” *Memoirs of the Research Department of the Toyo*

Bunko, No. 72, May 2015, pp. 27-56.

大塚英志

●著書

- 『アンラッキーヤングメン クウデタア』一卷（西川聖蘭と共著）イースト・プレス 二〇一五年四月 二二七頁
 『오쓰카 에이지 순문학의 죽음·오타쿠·스토리텔링을 말한다』북마이북 二〇一五年四月 一五二頁
 『今、改めて「自衛隊のイラク派兵差止訴訟」判決文を読む』（川口創と共著）星海社 二〇一五年五月 三二〇頁
 『多重人格探偵サイコ』二二巻（田島昭宇と共著）株式会社KADOKAWA 二〇一五年七月 一六四頁
 『세계만화학원』북마이북 二〇一五年七月 四一二頁
 『UNLUCKY YOUNG MEN 1』（仏語翻訳版）（藤原カムイと共著）Kion 二〇一五年九月 三六二頁

●論文

- 『解題』『ジブリの教科書九 耳をすませば』文藝春秋 二〇一五年四月 二二一～二三一頁
 『『映画的手法』のWEB最適化実験とリミテッド・アニメ』（山路亮輔と共著）『TOBIO Critiques #1』太田出版 二〇一五年五月 四～三七頁
 『研究メモ 戦時下のメディアミックス——『翼賛一家』と『カンカラ勝ちちゃん』（蔡錦佳と共著）『TOBIO Critiques #1』太田出版 二〇一五年五月 一一六～一一九頁
 『解題』『ジブリの教科書一〇 もののけ姫』文藝春秋 二〇一五年七月 二五六～二七八頁
 『現代のことば』『京都新聞』（夕刊）二〇一五年八月二三日 七頁
 ●その他の執筆活動
 『書評 貴志俊彦『日中間海底ケーブルの戦後史 国交正常化と通信の再生』』『週刊ポスト』二〇一五年四月二四日号
 『もどき開口 木島日記完結編「怪物の民俗学」第九回『怪』vol.1004』株式会社KADOKAWA 二〇一五年四月
 『恋する民俗学者』（中島千晴と共著）『Comic Walker』株式会社KADOKAWA 二〇一五年四月～九月

「多重人格探偵サイコ」(田島昭宇と共著)『ヤングエース』二〇一五年五月号〜一〇月号 株式会社KADOKAWA

「まんがでわかる まんがの歴史」第一回〜六回(ひらりと共著)『ヤングエース』二〇一五年五月号〜一〇月号 株式会社KADOKAWA

「書評 Edited by Patrick W.Galbraith, Thiam Hui Kam and Bjorn-Ole Kamm 『Debating Otaku in Contemporary Japan』(日本語版未発売)」『週刊ポスト』二〇一五年六月一九日号

「アライアズキ、今宵も小豆を洗う。」(山崎峰水と共著)『ヤングエース』二〇一五年六月号〜一〇月号 株式会社KADOKAWA

「もどき開口 木島日記完結編「怪物の民俗学」第二〇回『怪』vol.0045 株式会社KADOKAWA 二〇一五年七月

「角川歴彦とメディアミックスの時代」第五回『最前線』二〇一五年八月五日 星海社

「インタビュー Dans le manga, le mouvementest roi」『Liberation』二〇一五年八月六日 二四〜二五頁

「書評 川上量生『鈴木さんにも分かるネットの未来』『週刊ポスト』二〇一五年八月一〇日号

「アンケート回答 安全保障関連法案とその採決についてのアンケート」『早稲田文学』二〇一五年秋号 筑摩書房 二〇一五年八月 三五九〜

三六〇頁

「クウデタア2」(西川聖蘭と共著)『ComicWalker・大塚英志漫画』株式会社KADOKAWA 二〇一五年八月〜九月

郭 南燕

● 著書

Tokoku, Japan's Constructed Outland, Hiemichi Kawanishi, Translated by Nanyan Guo and Raquel Hill, Leiden, Boston: Brill, September 2015, 178 pages.

● 論文

「志賀直哉の夢景色」荒木浩編『夢みる日本文化のパラダイム』法蔵館 二〇一五年五月 五〇二〜五二九頁

北浦寛之

● 論文

「ワイドスクリーンと日本映画の変貌―変化する撮影のスタイル」塚田幸光編『映画とテクノロジー』ミネルヴァ書房 二〇一五年四月
一五一～一七四頁

●その他の執筆活動

「テレビへの接近―東映の『一元的経営』について」『日本映画学会会報』第四三号 二〇一五年六月 二～六頁

「書評 羽鳥隆英編『寄らば斬るぞ！ 新国劇と剣劇の世界』」『神戸映画資料館ウェブ・スペシャル』二〇一五年八月

「映画『あん』とハンセン病問題」『日文研』五五号 二〇一五年九月

楠 綾子

●論文

「サンフランシスコ講和とアジア」宮城大蔵編著『戦後日本のアジア外交』ミネルヴァ書房 二〇一五年六月 四七～八〇頁

●その他の執筆活動

「安全保障法制を考える視点――国際環境を直視し、『リスクとコスト』の議論を」『新聞研究』二〇一五年八月号 (No. 769) 日本新聞協会
四〇～四三頁

「『安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会』報告書」他二〇項目『イミダス』二〇一五年度版 集英社

倉本一宏

●著書

『「旅」の誕生 平安―江戸時代の紀行文学を読む』河出書房新社 二〇一五年六月 二二～二頁

●論文

「花山院の修行説話をめぐって」『白山史学』五一号 二〇一五年五月 一～二六頁

●その他の執筆活動

「白村江の戦 唐・新羅の台頭と百濟滅亡」『歴史読本』二〇一五年春号 二〇一五年四月 中経出版 一〇〇～一〇七頁

「平安時代の文学と仏教（司会・編集）」黒板伸夫・永井路子編『黒板勝美の思い出と私たちの歴史研究』吉川弘文館 二〇一五年四月 八八～一六八頁

「史料・文献紹介『栄花物語』」『歴史と地理 日本史の研究』二五〇号 二〇一五年九月 二七～三二頁

フレデリック・クレインス

●著書

『日蘭関係史をよみとく 下巻―運ばれる情報と物』（編集）臨川書店 二〇一五年六月 二五六頁

●論文

「オランダ商館長と將軍謁見―野望、威信、挫折―」笠谷和比古編『徳川社会と日本の近代化』思文閣出版 二〇一五年三月 五五一～五七八頁
「オランダ商館長日記にみる西洋医療伝授」フレデリック・クレインス編『日蘭関係史をよみとく 下巻―運ばれる情報と物』臨川書店 二〇一五年六月 一九～五四頁

小松和彦

●著書

『大人の探検 妖怪 YOKAI』（監修）実業之日本社 二〇一五年五月 一九二頁

『知識ゼロからの妖怪入門』幻冬舎 二〇一五年七月 一二七頁

『異界と日本人』株式会社KADOKAWA 二〇一五年七月 二二〇頁

『京都魔界地図帖』（監修）宝島社 二〇一五年七月 一一一頁

『決定版 日本の妖怪』（飯倉義之と共同監修）宝島社 二〇一五年九月 一二七頁

●その他の執筆活動

「特集」ころ—What & How 妖怪—自分の心を写す「鏡」『MOKU』二〇一五年四月号 MOKU出版株式会社、二〇一五年四月

「芸能の鬼の魅力」『第一二六回民俗芸能公演 東日本大震災復興支援 東北の芸能Ⅳ みちのくのオニ』独立行政法人日本芸術文化振興会国立

劇場 二〇一五年四月

「第九回首都大学東京図書館本館主催講演会『研究は世界を広げるく越境する妖怪』」レポート 講師 小松和彦氏（講演録）『りべる』

No.128 首都大学東京図書館 二〇一五年四月

「インタビュ 京ものがたり 伏見稲荷大社『妖怪博士』が語る」『朝日新聞』（夕刊）六月二三日

「特別企画 大人も子どもも楽しめる！妖怪入門」（監修）『PHP』二〇一五年八月号（通巻八〇七号）株式会社PHP研究所 二〇一五年七月

「森の神殺しとその呪い」『ジブリの教科書一〇 もののけ姫』文藝春秋 二〇一五年七月

「小松和彦インタビュ 魔都への誘い—もうひとつの京都」『京都魔界地図帖』宝島社 二〇一五年七月

「妖怪がいない妖怪ウォッチ」『文藝春秋』二〇一五年八月号 文藝春秋 二〇一五年八月

「インタビュ 妖怪はなぜ生まれたのか？—日本の妖怪文化をたどる—」『月刊京都』二〇一五年八月号（七六九号）白川書院 二〇一五年八

月一日

「インタビュ ニュースを読み解く 掲示板の視点『人文系学問の未来』」『京都新聞』二〇一五年八月一日

「ソフィア京都新聞文化会議四六四 小松和彦氏 慰霊という現代の記憶装置」『京都新聞』二〇一五年八月七日

「人間学としての妖怪学を求めて」『本』八月号 講談社 二〇一五年八月

「解説 よみがえる草双紙の化物たち」『江戸化物草紙』（角川ソフィア文庫）株式会社KADOKAWA 二〇一五年八月

「妖怪対談」（飯倉義之と）小松和彦・飯倉義之監修『決定版 日本の妖怪』宝島社 二〇一五年九月

佐野真由子

●その他の執筆活動

「これまでの万博、これからの万博」（座談、中牧弘允・石川敦子と）『鴨東通信』No.99 二〇一五年九月 二〇一七年

「万博の人びと」同右、八〇九頁

瀧井一博

●その他の執筆活動

「政治学の古典を読む（一一）民主主義の世界観 ハンス・ケルゼン著（長尾龍一・植田俊太郎訳）『民主主義の本質と価値』岩波文庫 二〇一五年」『究』五月号（通巻第五〇号）ミネルヴァ書房 四四〇四五頁

「明治憲法の成立とドイツの影響」国立歴史民俗博物館編『図録 ドイツと日本を結ぶもの―日独修好一五〇年の歴史―』二〇一五年七月 八六頁
「日本の国家構造を人体に模して説明した図」『大日本帝国憲法（明治憲法）「憲法発布式桜田之景」（キャプション解説）国立歴史民俗博物館編『図録 ドイツと日本を結ぶもの―日独修好一五〇年の歴史―』二〇一五年七月 八四〇八五頁

「政治学の古典を読む（一二）政治を見るクリオの眼 高坂正堯『文明が衰亡するとき』新潮社 一九八一年」『究』八月号（通巻第五三号）ミネルヴァ書房 四四〇四五頁

ジョン・ブリン

●著書

『神都物語―伊勢神宮の近現代史 歴史文化ライブラリー四〇五』吉川弘文館 二〇一五年六月 一九二頁

●論文

「神苑会と宇治山田…近代的聖地の形成をめぐる」『瑞垣』二三一号 二〇一五年 三九〇五六頁

●その他の執筆活動

「現代の言葉 アムネスティ」『京都新聞』（夕刊）二〇一五年五月二六日

「伊勢神宮の公共性」『本郷』第一一八号 吉川弘文館 二〇一五年七月 一八〇二〇頁

細川周平

● 論文

“A literature moderna dos imigrantes japoneses nos folhetins de jornais entre 1920 e 1930,” Andrea Yuri Flores Urushima, Raquel Abi-Sâmara & Murilo Jardelino da Costa (eds.), *Modernização urbana e Cultura Contemporânea: Diálogos Brasil-Japão*, Terracosta, São Paulo, 2015, pp. 43-68 (translation by Yuko Takeida P. de Arruda).

● その他の執筆活動

「室伏鴻さんを送る」『外』へ！〈交通〉へ！ ありがとう 室伏鴻！」「ありがとう 室伏鴻！」実行委員会 二〇一五年八月 五一〜五四頁

松田利彦

● 著書

『東亜聯盟運動と朝鮮・朝鮮人―日中戦争期における植民地帝国日本の断面』有志舎 二〇一五年六月 二四〇頁

● 論文

「一九一〇年代における朝鮮総督府の国境警備政策」『人文学報』第二〇六号 二〇一五年四月 五三〜七九頁

山田奨治

● 著書

『東京ブギウギと鈴木大拙』人文書院 二〇一五年四月 二五〇頁

● その他の執筆活動

「武道の可能性を探る…第七四回 わたしにとっての弓道」『月刊武道』二〇一五年五月号

「インタビュ― 著者に会いたい 不肖の息子と偉大な父の物語」『朝日新聞』二〇一五年五月一〇日

「インタビュ― 型破りな息子との関係研究 人間的側面 浮き彫りに」『毎日新聞』（京都版）二〇一五年五月二六日

「インタビュール 大拙 息子へ悟りと慈悲 書簡・日記に揺れる親心」『讀賣新聞』（大阪本社版・夕刊）二〇一五年六月二四日

「インタビュール 巨人に近づく入り口になれば」『西日本新聞』二〇一五年七月一二日

「五輪エンブレム 問題どこに 類似許さぬ現代社会」『毎日新聞』二〇一五年九月四日

「コメント 横行するコピー文化 五輪エンブレム騒動から考えた」『東京新聞』二〇一五年九月四日

「いまの社会を変えられるのは誰か」『ポリタス』二〇一五年九月二八日

「図書館とデータベースの経済効果」『日文研』五五号 国際日本文化研究センター 二〇一五年九月

マルクス・リュッターマン

● 著書

（共編）*Japonica Humboldtiana* vol. 17 (2014-15), Wiesbaden: Harrassowitz, September 2015.

劉 建輝

● 論文

「竹内好対近現代中国の認識及其影響」復旦大学文史研究院編『中国的日本認識・日本の中国認識』中華書局 二〇一五年四月

● その他の執筆活動

「インタビュール『絵』が語る旧満洲政策―帝国膨張と『宣伝』読み解く」『京都新聞』（夕刊）二〇一五年七月二二日